

今年もまた神田祭がやってきます。神田明神の御祭神を載せた神輿とそれに続く練り物は、氏子の町をめぐり、最後は日本橋から万世橋を渡って神社へと戻ります。江戸も東京も川と橋の町でした。この町の風景と暮らしがどう変わってきたのかを、橋を手がかりに振り返ります。日本橋、今はなき今川橋、万世橋を渡って、さあ昔の東京へと出かけましょう。

### 展示テーマ・展示内容

- 橋と通りにまつわる古写真、古地図、古い絵葉書などの数々を展示
- 橋は都市の要、**日本橋**は日本の要、**常盤橋**に見る明治の面影
- **今川橋**で撮影された明治17年の神田祭、**旧龍閑川**と堀川の変遷
- 筋違橋御門の退場、**万世橋**の登場、広場と通り  
(八ツ小路、万世橋駅前、秋葉原・旧青物市場、**柳原の古着市**)
- 神田祭ドキュメント  
(神田五軒町々会の御神輿、子ども神輿、太鼓山車、氏子町会手ぬぐい、弓張り提灯)



お問い合わせ・会場／アーツ千代田 3331  
東京都千代田区外神田 6-11-14 (旧練成中学校)  
TEL : 03-6803-2441 (代表) MAIL : info@3331.jp

### 関連イベント

#### 上映会

5月3日(水・祝) 14:00-15:30

#### ライオン創業者／小林富次郎葬儀映像(重要文化財)上映

解説付きで見ると、重要文化財指定の貴重映像に昔の神田の姿が映り込む。記録映像が撮影された背景や、フィルムが見つかったからのエピソードなどもご紹介します。

解説：松村伸彦(ライオン株式会社 社史資料室長)  
料金：500円(資料含む)  
協力：東京国立近代美術館フィルムセンター

#### 町歩き

5月5日(金・祝) 13:30-16:30 ※途中休憩有り

#### 木下栄三の重ねた絵図で楽しむ江戸道散歩

江戸時代の見附の場所(現代の橋)で、現代風景と重ねた絵図を見ながらめぐります。

案内人：木下栄三(画家、建築家)  
料金：3,000円(資料、保険料含む)



「筋違御門」画：木下栄三

#### 体験会

5月7日(日) 10:30-12:00

#### 神田囃子体験講座

祭には欠かせないお囃子。子どもから大人まで参加できます。本物の締め太鼓を叩きながら江戸のリズムを体験してみよう!

指導：神田囃子 諫鼓  
料金：子ども500円、大人1,000円



#### イベント申込

①ご希望の参加イベント名 ②お名前 ③電話連絡先 ④Eメール  
FAXもしくはメール、またはイベント申込サイトでお申し込みください。お申し込み締め切りは、各開催日の3日前までとなります。  
FAX : 03-6803-2442 / MAIL : wa2@3331.jp ※イベント申込サイトは展覧会特設サイトをご参照ください。http://kanda.3331.jp

#### マーケット

5月3日(水・祝) 12:00-17:00

#### 三三三市／“お江戸”再生・モノ市

江戸の大きな古着市として有名だった神田にあった「柳原の古着市」から着想し、アーツ千代田 3331でも「江戸から受け継がれるリサイクル魂」をテーマにマーケットを開催します。人々が暮らしの中で見いだした、発想と知恵で作られた商品が賑やかに並びます!



#### 講座

5月6日(土) 第1回 13:30-15:00 第2回 15:30-17:00

#### 日本橋から3331へ

#### ～今昔の橋を渡ってまちの移り変わりをたどるトークシリーズ～

本展覧会の二人の監修者が江戸時代から現代を取り上げる連続講座。

- 第1回 江戸の景観 — 橋を渡るひとびと
- 第2回 明治の景観 — 広場と通り

講師：第1回 滝口正哉(成城大学・立正大学非常勤講師)  
第2回 木下直之(東京大学教授)  
料金：1回1,000円(いずれも資料含む)、2回連続1,500円

#### 落語会

5月7日(日) 15:00-16:30

#### 立川志の春落語会 TOKYO ⇄ EDO コラボ企画

東京と江戸のまちを落語で繋ぐタイムトリップへようこそ。神田の青物市場が登場する落語『千両蜜柑』を聞いた後、当時市場で茶屋を営んでいたご先祖さんを持つゲストをお招きしてお話をうかがいます。千両蜜柑さながらの、果物の試食つきです。

出演：立川志の春(落語家)  
ゲスト：たてやま西平(旧神田市場・市場茶屋)  
料金：2,500円

